

日	曜	9月の行事予定	日課	給食
1	月	2学期始業式(①式②集会③④学)※12:55 放課 教育実習開始(～26日)	45	○
2	火	課題テスト(5時間日課) ※14:45 放課 生徒会専門委員会	50	○
3	水		45	○
4	木	任命式(14:05～)	45	○
5	金		45	○
6	土			
7	日			
8	月		45	○
9	火		45	○
10	水		45	○
11	木	資源ゴミ回収 ⑤1年文化祭体育館練習	45	○
12	金	資源ゴミ回収 学校安全の日	45	○
13	土			
14	日			
15	月	敬老の日		
16	火	①②1年文化祭体育館練習	45	○
17	水	③④1年文化祭体育館練習	45	○
18	木	①文化祭りハーサル ※12:55 放課	45	○
19	金	文化祭	—	×
20	土			
21	日			
22	月		45	○
23	火	秋分の日		
24	水		45	○
25	木		45	○
26	金	英語検定(放課後) 教育実習最終日 遠足集金日(7:45～8:00 第3学習室前)	45	○
27	土			
28	日			
29	月		45	○
30	火		45	○

10月の予定	
3日(金)	⑤薬物乱用防止教室、生徒会専門委員会
9日(木) 10日(金)	2学期中間テスト
15日(木) 16日(金)	資源ゴミ回収
16日(木)	合唱コンクール(オープンスクール)
17日(金)	1・3年バス遠足
23日(木)	花を育て心を豊かにする活動 (放課後)
29日(水)	金曜日日課
31日(金)	統一大会【生徒臨時休校】



人権作文意見発表会

1学期の終わりに、1年生全員で行われた人権作文意見発表会。各クラスから代表として2名ずつ、全員の前で発表してくれました。一人一人、内容は違っていても、思うことは一つ。「みんなが幸せに暮らすために」素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。

●「男女差別について」の作文で「法律で決まっているわけではない」というのに気づかされました。確かに「男だからこうであるべき」という法律なんてないし、それはただの偏見だと思いました。「あの女なのにな…」のような発言もその人を傷つけるし、服装や髪型などはその人が自分で決めたことだから、他人が文句を言う必要はないということにも気づかされました。私も制服はスラックスが良いなと思っていました。それを母に言うと「女子なのにズボンには特別な理由があると思われるからダメ」と言われて悲しかった記憶がありました。「女だから」などの偏見がなくなったらいいなと思いました。(1組)●今日、いろんな人の作文を聞いて、実際に差別を経験されていたり、小学校の頃から人権問題について深く考えていたりする人がほとんどでした。実際にいじめを経験された方からは、差別された側や逆に関わっていた側にもつらい過去などがあり、これ以上いじめを経験したくないという思いが伝わってきました。経験されていない方からも、いじめはこの世界にあってはいけないことだという思いが強く伝わってきました。今日この発表会で改めて学んだことは、人間には弱い心があるということ。いじめが目の前で行われていたり、おこってしまったらしていたら、ほとんどの人がいけないこととわかってはすずです。自分を優先し、勇気を出せずに止めることができていないことも人間の弱い心の一つだと思いました。(1組)●私が一番印象に残っているのは、「男女差別について」の発表です。男子だから女子だからといって、自分の好きを出せないのは、どれだけしんどいことか、私にもわかります。私は小学生のとき、ベリーショートでした。自分でも勇気がいりましたが、後悔はありませんでした。でも、学校に行ったら、たくさんの冷たい視線に襲われました。明るい声をかけてくれたのは、先生と親友だけでした。その日は悔しく、自分の好きを出せませんでした。今日の発表を聞くことで、あの時もっと胸を張ればよかったと思います。これからは、新しい自分が変わったとき、もっと胸を張れる強い人になりたいです。また、自分にできるいじめの削減に取り組んでいきたいです。(2組)●僕は、今日の人権意見発表会で発表してくれた全員に共通していると感じたことは「みんなが幸せに暮らせることを願っている」ということでした。それぞれ取り上げている話題は違ったものの、それが一番大切なのだと思いました。僕も差別やいじめなどはなぜ起こってしまうのか！この世の中から消えないのか！と不思議に思ったことがありました。差別をして何が楽しいのかとも思いました。一番大切なのは、差別を受けている人、いじめられている人たちに寄り添う、話しかけることだと、この会を通して考えました。差別やいじめのない世の中にしていきたいです。(2組)●みんなの人権作文を聞いて、私は「男女差別について」と「そのひとことが世界をかえるかもしれない」という作文がとても心に残りました。まず「男女差別」の作文は男性女性関係なく自分らしく生きるという言葉聞いてとても感動しました。偏見を相手におしつけるのは、絶対に違うということに気づきました。そして、もし私が無意識に男女差別をしていたら、すぐ謝ってこれからの言葉に気をつけたいです。次に、「そのひとことが世界をかえるかもしれない」の作文は、キモイ、ウザいなどの言葉の重み、言動を考えさせられました。私は、この言葉を使っていて胸がドキッとしてしました。私は、確かに言葉の重みをあまり考えていなかったので相手が傷つく言葉は絶対に言わないと思いました。しかしたったひとことでも傷つけることや、相手の心を温かくすることがあると言っていました。最後に、発表してくれたみんなはつらい経験を元にも書いている人もいて、これから差別は絶対にしないで、平和に過ごしたいです。(3組)●私は、「そのひとことが世界をかえるかもしれない」の作文がとても心に残りました。私も昔いじめのようなことを見ていることだけしか出来ませんでした。その時の私は「自分にできることなんて何もないだろう」と思っていました。でも今日の作文を聞いて、どうしてあの時何もしなかったのだろう。本当はできることがたくさんあったんじゃないのだろうか。と思いました。みんなの作文を聞いて、「この中には、私の発表を笑う人はいないんだ」となんだかとてもうれしくなりました。私はこの発表会に参加して、これからもっと人のことを考えていこうと思いました。(3組)

